

【別紙①】

第2学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

- 1 主 題 言葉の使い方を考えて生活しよう 善悪の判断、自律、自由と責任A－（1）
- 2 資 料 名 なんだあかのやろ
- 3 ね ら い インターネット端末を介して習得する情報の特徴を理解し、差別を助長するような不適切な言葉があることに気付くことができる。
何気なく使った言葉が人を傷つけてしまうことを理解し、安易な言葉で誰かを傷つけないよう、人の気持ちを考えて行動する態度を身に付けさせる。
- 4 人権教育の内容 人間関係の活性化3－（2）－ア
- 5 本時の展開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 端末の使用経験を思い出す。	○ 家族の携帯やタブレットで動画を見たことがあるかな、それはどんな動画だったか。	○ 見ていない児童の発言も認め、どのような動画だったのかを板書に残す。
2 範読を聞き、場面を整理する。	○ 先生はどうしてはるかさんを強く注意したのだろう。 ・ 使ってはいけない言葉だから。 ・ 人を傷つける言葉だから。 ○ はるかさんはどう思っているのか。 ・ 何がダメだったんだろう。 ・ そんなに怒らなくても良いのに。 ・ 次からは使わないようにしよう。	○ 全部読むのではなく、途中の場面まで範読を行う。 ○ はるかの言葉に着目させる。 ○ 素直に受け入れる気持ちと素直に受け入れられない気持ちを分けて板書に残す。 ○ この場面では、どちらの意見も受容する。
3 範読を聞き、お母さんの言葉について考える。	○ お母さんの言葉の中で一番心に残る文は何番ですか。 ① 人を傷つける言葉を使ったらダメだから。 ② 動画の言葉をそのまま使うと、人を傷つけることがあるから ③ 言葉をちゃんと考えて言わないといけないから。	○ 母親の言葉を3つの文章に分けて、番号と理由を考えさせる。 ○ ふとした言葉でも相手を傷つけること、インターネットでは、そのような言葉がたくさんあることをおさえる。
4 本時の学習のふり返りを行う。	○ 黒板をもう一度見て、今日の授業で感じたことを書きましよう。	○ 板書を手掛かりにふり返りを書かせる。